

シリーズ総合型地域スポーツクラブ⑦
スポーツクラブ なぎさ



スポーツクラブなぎさは、年齢、趣味、技術レベルに応じて気軽に運動や文化活動を楽しむクラブです。活動を通して健康づくりや生きがいづくり、地域の皆さんの交流とコミュニティの活性化を目指します。無料体験もできますので気軽にご来場ください。

教室 太極拳、硬式テニス、ヨガ、児童イングリッシュ教室、英会話など
場所 旧小佐々町保健センター、小佐々スポーツセンターなど
料金 月会費 2,000円(2種目目以降は1種目ごとに500円引き)
 年会費 大人2,000円、15歳以下1,000円
 ※各種スポーツ・文化活動の指導者を募集しています。
 詳しくはスポーツクラブなぎさまでお尋ねください。
スポーツクラブ なぎさ
 〒857-0412 小佐々町西川内143-1
 旧小佐々町保健センター内
 ☎68-3157、☎090-7466-1574(山下さん)
 ☎スポーツ振興課 ☎24-1111

佐世保市民文化ホール 2月から予約受付を開始します

佐世保市民文化ホール(旧海軍佐世保鎮守府凱旋記念館)は、平成25年10月から耐震補強を主な目的とした改修工事のため休館していましたが、工事の完了に伴い、4月から再開館します。また、再開館後の利用予約受け付けを下記のとおり開始します。

日時 2月1日(月)予約受付開始
申し込み 直接市民文化ホールへ
 ※詳しくは市ホームページをご覧ください。市民文化ホール(☎25-8192)にお尋ねを。



☎社会教育課 ☎24-1111

シリーズ九十九島⑬
九十九島の鯨類 カマイルカ



鯨類の中で、大人になっても体長が4mを超えない小さな鯨をイルカと呼んでいます。今回は九十九島にやってきた小さな鯨、イルカの話です。

イルカがやってきたのは2011年3月3日。九十九島遊覧船パールクイーンを操船中だった船長が、九十九島の一つ「横島」の東側で、4頭ぐらいの群れで泳ぐイルカを発見しました。早速確認のため調査に向かったところ、横島の近くにある「牧ノ島」の北側で、15頭ぐらいのカマイルカの群れを見つけました。カマイルカは体長が約2mで、背びれの後ろ側のふちが白く鎌の刃のように見えるのが特徴です。

このカマイルカは翌日の3月4日にも九十九島で発見され、前日撮影されたイルカと同じ個体が翌日にも撮影されています。この日は前日より頭数が増え、最終的には30頭ほどのイルカの群れを見ることができたようです。

さまざまな生き物を育む、九十九島の大きさを感じた出来事でした。

☎観光物産振興局 ☎24-1111

シリーズ私の3しい⑭
させば観光3しいPR隊 中国・廈門訪問

市民一人一人に、佐世保の3つの「しい」(美しい、楽しい、おいしい)を持ってもらい、PRしていただく「させば観光3しいGO!作戦」。その取り組みの一つとして、昨年5月から2カ月間、市民の皆さんお薦めの「3しい」を募集しました。

また、応募者3,607人の中から抽選で決定した3組6人の市民の皆さんに観光PR隊に参加していただきました。今回は、本市の友好都市である中国・廈門市^{アモイ}を訪問し、佐世保の3しいについてPRした様子をお知らせします。

廈門市旅游局における事業説明

「させば観光3しいGO!事業」の主旨説明を行うとともに、両市の交流促進をお願いしました。廈門市からは、市民レベルでの交流も積極的に行いたいというご意見をいただきました。



廈門理工学院における「させば観光3しい」PR

PR隊の皆さんが「九十九島」「ハウステンボス」「世知原茶」「レモンステーキ」などを紹介し、その後の交流会で「佐世保市にぜひ行ってみたい」という感想をいただきました。

また、廈門理工学院の学生から廈門市の「3しい」を紹介していただき、廈門市の魅力の一部を知る機会となりました。



☎観光物産振興局 ☎24-1111

シリーズ海風の国⑥
もてなしの心を重ね 心を束ねた 笑むかえ



街並みの景観整備の様子

「海風の国」佐世保・小値賀観光圏の11のエリアのうち、「もてなしの心を重ね 心を束ねた 笑むかえ」をコンセプトに事業を展開している江迎エリアをご紹介します。

平戸往還の宿場町としての歴史を持ち、平戸藩主が参勤交代の際に休泊した本陣屋敷や潜龍酒造の「もと蔵」、平戸藩の祈願寺である「寿福寺」など、宿場町として栄えた時代の風情が残る町です。

江迎の町に誇りを持ち、歴史や文化を大切に受け継いでいる地元の皆さんが中心となり「江迎活性化協議会」と、事業実施の受け皿として「一般社団法人地域活性化推進機構」を立ち上げ、江迎の奥深い魅力を発信するため、「街並み景観整備」や「地域産品を活用した食の開発」などのさまざまな事業を展開しています。

街並み景観整備については江迎を訪れる人に宿場町として栄えた当時の雰囲気を感じていただこうと、地域の皆さんと一緒に格子戸設置や植栽に取り組んでいます。

また、地元のイノシシや黒豆を生かした新商品の開発にも力を入れており、まさに観光圏の目指す滞在交流型観光を軸とした観光地域づくりが行われています。今後も「海風の国」観光圏における重点エリアの一つとして、「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりを推進していきます。

☎佐世保観光コンベンション協会 ☎23-6843